

第28号 平成25年8月2日発行
編集局 JA山口中央会



集落営農法人だより

若手法人就業者サークル「百姓錬磨の会」発足

7月10日、若手法人就業者サークル「百姓錬磨の会」が発足しました。このサークルは、県内の若手法人就業者の連携を強化するとともに、自主的な活動による資質の向上を目的としています。昨年度本協議会が開催した会員法人と若手就農希望者（農大生・支援塾生）との意見交換の場において、「就農後も気軽に相談できる仲間づくりの場が欲しい。」と意見が出されたことを受けて、発足しました。7月30日現在、原則40歳以下の7法人16名がメンバーとして所属し、事務局は本協議会と同じくJA山口中央会が務めます。



若手法人就業者サークル「百姓錬磨の会」メンバー

当日は、6法人12名のメンバーが集まり、サークル名を決定した後、今年度の活動計画や普段の業務・生活に関する意見交換を実施しました。

サークル名は、様々な案が寄せられる中、(農)心和会の山田雅嗣さんが提案した「百姓錬磨の会」に決定しました。山田さんは「より発想力・技術力のある農業者を目指して、互いに切磋琢磨していけるサークル活動にしていきたい。」と話されました。



協議の様子①

今年度の活動について、「全国的に有名な集落営農法人を視察することで、全国レベルの経営を直に感じてみたい。」「各種イベントに参加することで親睦を深めていきたい。」「実際に経営に結びつくような法人同士の連携を検討していきたい。」と多様な意見が寄せられました。また、意見交換では、山口県農林総合技術センターから、昨年度集落営農法人の経営者・後継者双方に実施した経営継承に係るアンケート結果について情報提供をいただき、メンバーは、法人や集落との関わり方、集落への定住条件などについて意見を述べました。



協議の様子②

今後、同サークルのリーダー[(農)ファームつるの里 じんだしんたろう 仁多新太郎さん]・副リーダー[(有)名田島農産 かわもときょうへい 川本匡平さん]と事務局で意見をまとめ、今後の活動計画の詳細を練っていきます。

仁多リーダーは「若い法人就業者が集まり多様な活動を行うことができるこのサークルは、始まったばかりだが様々な可能性があるように思う。今後もサークル員を増やし、山口県農業を盛り上げていきたい。」と意気込みを話されました。

若手法人就業者サークル「百姓錬磨の会」はメンバーを募集しています。会員法人に就業している原則40歳以下の方で、興味がある方は、事務局 [JA山口中央会(農業振興部・中村) TEL: 083-902-7503] までお問い合わせ下さい!!

第1回課題別研修会・検討会「ITの活用について」開催

7月29日、山口市で第1回課題別研修会・検討会「ITの活用について」を開催しました。

研修会・検討会には、事前に実施したアンケートで研修会・検討会への参加を希望され、かつインターネットに繋がる情報機器を所有されている8法人が参加しました。

当日は、研修会・検討会の趣旨・取り組み内容の説明とアンケート調査結果の報告の後、意見交換を行いました。

【課題別研修会・検討会「ITの活用について」概要】

○取り組みの趣旨

- ①経営継承に向けて情報を組織内で共有できる
- ②目的に即した情報発信ができる
- ③必要な情報が入手できる

…①～③の体制を目指す。

○取り組み内容

①研修会・検討会の開催

…7月29日（現状把握・情報交換）の他、2～3月（情報交換・研修会）の年2回開催予定。（来年度も継続）

②モデル法人への支援

…2法人をモデル法人とし、関係機関一丸となって集中的に支援を行う。

③法人間及び関係機関のネットワークの構築

…メールアドレスのリストを作成し、情報のやりとりを行う。

意見交換では、法人における情報機器の活用状況や、課題・問題点等について話し合いました。ソリマチやエクセルの表で法人内の様々なことを管理されている法人、法人だより・HP・FACEBOOK・ブログ等を活用した情報発信を行っている法人、直売所や道の駅の情報をメールで確認される法人など、多様な使い方をされている法人がいらっしゃいました。



意見交換の様子

平成25年度 検討部会「大豆栽培技術について」 開催

7月19日、平成25年度検討部会「大豆栽培技術について」をJAあぶらんど萩地域営農連携協議会と共催しました。検討部会には、JAあぶらんど萩管内の会員の他、他の地域法人協議会の会員や関係機関も含め計43名が参加しました。

当日は、午前中に（農）上田万、（農）うもれ木の郷、（農）小国ファーム、（農）かわかみの4法人の大豆展示圃を視察した後、午後から検討会を開催し、各地区の生育状況の確認や、今後の栽培管理（雑草対策・排水対策・病虫害対策）について萩農林事務所より報告が行われました。



大豆展示圃視察の様子



検討会の様子

他の地域から来られた参加者からは、「今回視察した圃場のように、整った圃場を目指して作業を進めていきたい。大変参考になった。」との声が上がりました。

ソリマチ農業簿記を活用した会計処理・部門管理研修会 開催

6月11・12日、山口市と柳井市でソリマチ農業簿記を活用した会計処理・部門管理研修会を開催しました。研修会には、法人や関係機関を含め2日間で合計50名が参加しました。

当日は、ソリマチ農業簿記の概要や、初期データの作成、日々の取引を記録する仕訳の入力方法、部門管理について研修しました。

7月1日付文書で会員法人の皆さまにご案内しておりますが、受講希望者多数のため、8月26日に再度山口市で開催します。ソリマチの操作方法の他、経営安定に向けた取り組みとして欠かせない部門管理についても研修しますので、希望される方は、各地域法人協議会事務局（JA）までお問い合わせください！！



研修会の様子